

家計診断

共稼ぎで金融資産1千万円 住宅資金を株で殖やしたい

相談

35歳の会社員です。妻もフルタイムで働いていて、2人合わせた年収は1200万円ほど。金融資産は約1千万円あります。子どもの成長に合わせて住まいを築いていった方が合理的だと思うので、今は賃貸マンションに住んでいますが、いずれ自然豊かな場所に夫婦2人で暮らす家を建てたいと考えています。そのための資金を今から用意しようと考えているのですが、定期預金や国債では利率に魅力を感じません。教育資金は元本保証のある金融商品で確保し、住宅取得のための資金は株式で殖やしたいと考えているのですが、成功のひけつはありませんか。

確かに預金の利率は年1%にもならないものが大半で、国債もそれほど大きくは変わりません。確率は高いものの、現在の利率ではお金自身が多くの利子を稼いでくれることは期待できません。

その点、一般に株式投資がたやす投資収益率は、預金や債券の利率よりも高いと考えられています。ただ、魅力的な半面で確率性が大きく劣ることは決して外れません。株式投資は元本が倍になることもあれば、一方で、半分に落ちることも、さらには企業倒産でもゼロになることもありえます。

そこで株式投資を始めるにあたっては、その資金が半分は少なくとも人生設計が大きく狂ってしまわないような投資額をまず決めておく必要があります。相続者の場合、共働きと違って子ども以外の出来事にも備え、例えば1千万円のうちの1000万円程度は元本保証のある金融商品で確保しておくことを勧めます。

「企業を買う」心がけて ■ 利益率を参考に

その上で余裕資金を株式投資で殖やすことにしましょう。証券会社に口座を開けば準備万端です。インターネットを利用する人ならより簡単にできます。

さて、株式投資には大きく分けて二つの投資スタンスがあります(図参照)。どちらが正しいということはありません。ただ、自分の投資スタンスはどちらなのかをしっかりと明確に意識していただく必要があります。なぜならスタンスによって正しい投資行動が異なるからです。

相対者の場合は「企業を買う」というスタンスの方がよいと思われるかもしれません。夫婦2人の生活に必要な定額を長い年月があるのでもう一方は、長期に投資の結果を回収するのを考えます。もう一方の「株値を買う」というのも面白いのですが、格差的には投機的な行為になりがちで、資産形成には結局ひびきにくい。特に働かぬりのサラリーマンでは株値のチャートを見ながら企業を買っていくのは、利益率の高さから見て、最終的には利益率の高さから見て、利益率の高さを重視するべきです。

のが夢です。そのための資金を今から用意しようと考えているのですが、定期預金や国債では利率に魅力を感じません。教育資金は元本保証のある金融商品で確保し、住宅取得のための資金は株式で殖やしたいと考えているのですが、成功のひけつはありませんか。

株式投資のスタンス

	株値を買う		企業を買う	
	投機	投資	投資	資産形成
投資成果の回収期間	1日~半年程度	~数年	~数年	10年以上
狙うのは…	値上がり率 または 出来高の 上位銘柄	収益・財務から 見た割安銘柄	収益・財務から 見た割安銘柄	収益の安定性や 成長性から見た 成長株
重視するものは…	タイミング チャート	株価水準など	株価水準など	企業業績 事業内容 ROE

なりませぬ。ROE(株主資本利益率)という指標は、取引前後の利益を株主資本で除した数値で、株主に与える投資収益率といえます。証券会社のホームページで提供されている検索エンジンを使えば、ROEが10%以上の企業を探すと、有望な投資先が見つかるかもしれません。事業の安定性や成長性も確認し、長く持ち続けられるかどうか考えてみてください。

FPアソシエイツ&コンサルティング
ファイナンシャルプランナー
福田 啓太